



自立援助ホーム  
東駒形荘（墨田区）

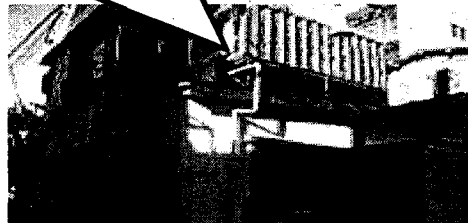


自立援助ホーム  
ホテル三晃（台東区）



第二種社会福祉事業宿泊所  
あさひ館（台東区）

第二種社会福祉事業宿泊所  
千束館（台東区）



第二種社会福祉事業宿泊所  
日の出館（台東区）  
女性専用

# ふるさとの会 居住支援

第二種社会福祉事業宿泊所  
せせらぎ館（墨田区）



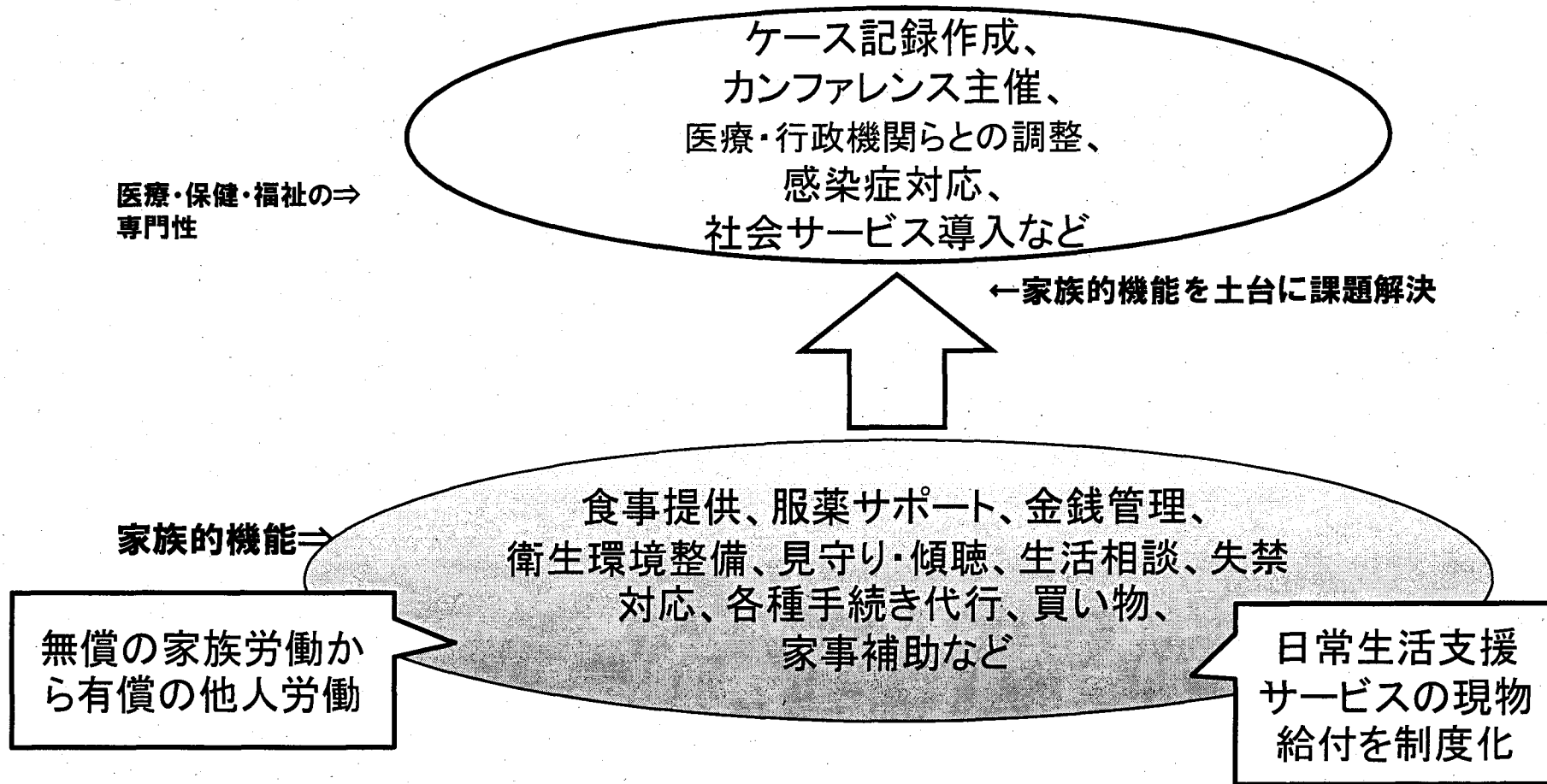
精神障害者グループホーム  
ふるさとホーム（墨田区）  
2ユニット

自立援助ホーム  
晃荘（墨田区）

自立援助ホーム  
寿々喜屋ハウス  
（墨田区）



## ※日常生活支援に求められる内容



※日常生活支援(家族的機能)でのニーズ把握

※多様な利用者への個別的で多様な生活支援への取り組みとコーディネート

※利用者が支援者を選ぶ

※「生活のゆがみ」の回復は「生活支援」から＋医療などと連携⇔医療優先では成立しない

# 地域ケア連携をすすめる会

共同呼びかけ人 代表

浅草病院医師 本田徹  
友愛会理事長 吐師秀典  
ふるさとの会理事長 佐久間裕章

## 所属一覧

### 【在宅診療・看護・介護・薬局等】

かとう医院（事務長）、浅草病院（医師、看護師、MSW）、 亀戸中央通りクリニック（コーディネーター）、塩川内科（院長）、川崎メンタルクリニック（院長、PSW）、入谷歯科（部長）、スズキ鍼灸整骨院（院長）、コスモ薬局（代表取締役）、げんきケアサービス（代表取締役、相談員）、アイ・サポート（代表取締役）、あさくさ地域包括センター（介護係長代行）、マルコ食品（管理責任者）、ヘルパーステーションふるさと（ケアマネージャー）

### 【病院・診療所】

信愛病院（MSW）、賛育会病院（MSW）、国立国際医療センターエイズ治療・研究開発センター（患者支援調整官）、浅草寺病院（MSW、看護師）、椿診療所・永寿総合病院（医師）、社会保険中央病院（看護師）

### 【行政・福祉事務所】

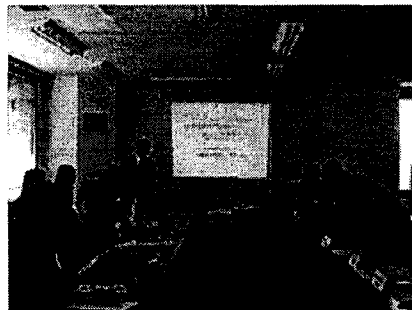
東京都保護課（指導担当係長）、城北労働福祉センター（管理係長）、新宿区福祉事務所（相談係長、生活福祉第一係長）、東京ソーシャルワーク（代表）、墨田区福祉事務所（CW）、日本堤消防署（救急係長）

### 【山谷地域NPO】

訪問看護ステーションコスモス（理事長、看護師、ケアマネージャー）、友愛会（理事長、主任）、山友会（代表理事、相談員）、ふるさとの会（代表理事）

### 【大学・研究機関】

国立社会保障・人口問題研究所（室長）、国立精神・神経センター精神保健研究所（精神保健計画部長）、東京女子医科大学看護学部（准教授）



地域ケア連携をすすめる会 第1回総会記念シンポジウム  
「**単身低所得高齢者・障害者の地域生活支援と居宅サービス・  
医療サービスの連携**」

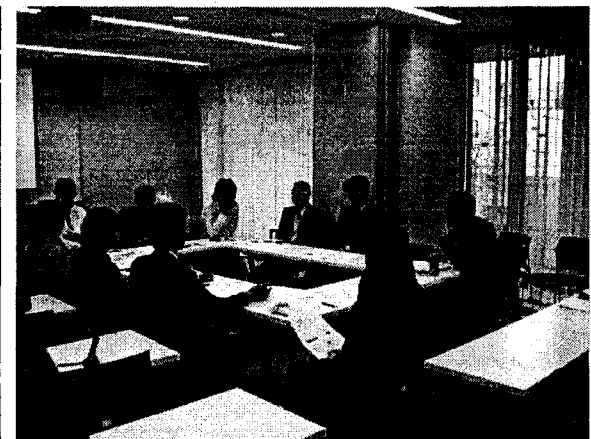
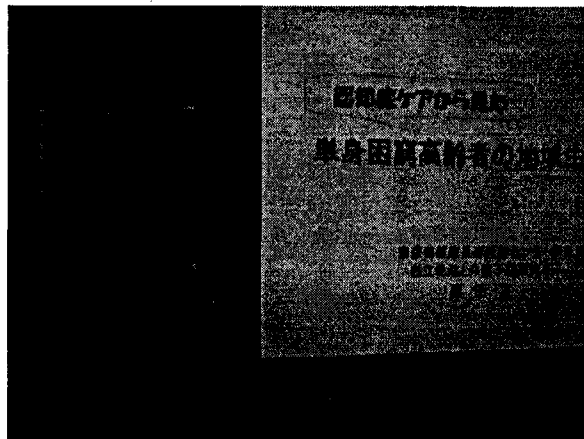
日時: 2010年2月13日(土)14時~17時半

会場: 台東区立台東病院会議室

参加者: 医療・介護従事者、福祉事業者、ホームレス支援団体、研究者、行政関係者、  
報道機関、弁護士等、47団体より計126名が参加

記念講演「**認知症ケアから見た単身困窮高齢者の地域生活支援**」

栗田主一氏 東京都健康長寿医療センター 自立促進と介護予防研究チーム 研究部長



# 宿泊所(都内168施設 定員5,174名)

- H17 宿泊所「あさぎり荘」利用者刺殺事件
- H20 宿泊所「さくら関町南ハウス」利用者が寮長に対して、刺殺事件
- H21 宿泊所「向島荘」元寮長が利用者に対して、傷害致死事件

宿泊所 W荘への訪問

※要介護者への排除

寮長:昼から飲酒「うちは自立支援でやっているから、手のかかる人には対応できない...」

寮内:当番制 便所掃除、風呂掃除等

食事:カップめん

# 簡易宿泊所(ドヤ)(170軒 被保護3,000名)

簡易旅館A荘(素泊まり)

地域包括支援センターから訪問サービス依頼

居室:2畳 畳が腐り、ネズミの糞が散乱

利用者:認知症 衣類と布団に便が付着 便臭により他利用者から苦情

トイレ:和式 (しゃがむことができない)

管理人:「はやく出て行ってほしい」

→要介護単身高齢者が安定して暮らすことのできない

# 群馬県渋川市「静養ホームたまゆら」火災

## 墨田区「近い施設少数」

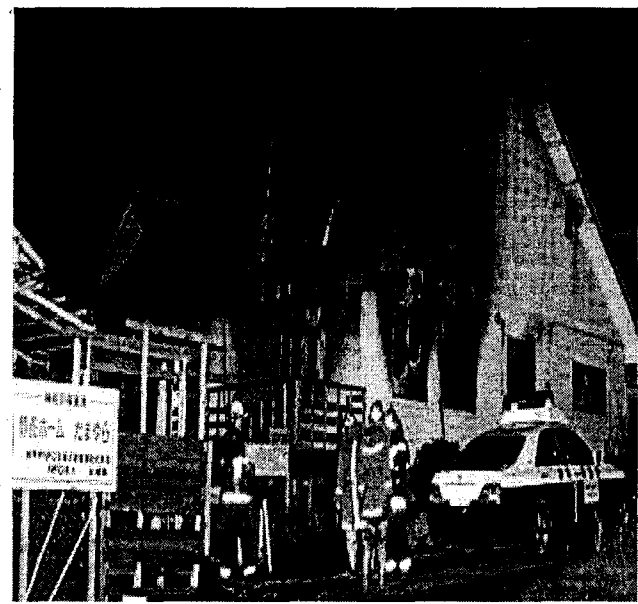
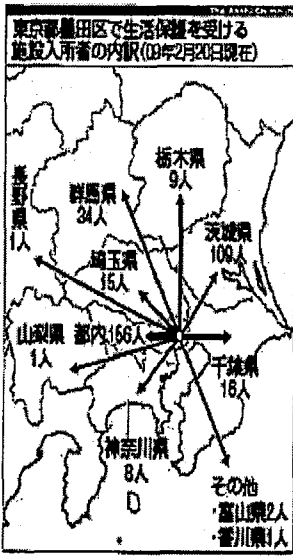
### 群馬火災 保護費負担は継続

「静養ホームたまゆら」の火災で、継続になった生活保護の生活保護費を納める多くを送り出していた東京都墨田区は21日、「近くに受け入れる施設は少ない」などを紹介した理由を説明した。一方で、受け入れ先の群馬県渋川市からは「火災があったら初めて入所者の経歴がわかった」と苦言も出ている。

エツクは難しいという。保護費負担が区外の施設に引継ぎされてきた。渋川市では負担が少なくて済む施設は少ないという。「話を聞き出したとき、たまたま全員引き継いで」と言われた。

自給で生活できない要介護者の受け入れ先は区内には施設が少なく、墨田区から生活保護費を委託しながら、他県の特別養護老人ホームやグループホームなどに入所する人は2月20日現在、1000人。行き先は周辺を中心とする10県に分散している。区は「生活保護費が来るのは待たない。近くで受け入れてくれる施設があればベストだが、少ないのが現状だ」。同区役所の高齢政策課課長は苦境の表情を浮かべた。

「たまゆら」を運営するNPOは「生活保護費が来るのは待たない。近くで受け入れてくれる施設があればベストだが、少ないのが現状だ」。同区役所の高齢政策課課長は苦境の表情を浮かべた。



## 法定外施設に1万4000人

### 生活保護受給者「東京から外へ」517人

生活保護受給者で、無償で受け入れる施設がない場合、生活保護費を納める多くを送り出して、生活保護費を委託しながら、他県の特別養護老人ホームやグループホームなどに入所する人は2月20日現在、1000人。行き先は周辺を中心とする10県に分散している。区は「生活保護費が来るのは待たない。近くで受け入れてくれる施設があればベストだが、少ないのが現状だ」。同区役所の高齢政策課課長は苦境の表情を浮かべた。

朝日新聞社 無断複製転載を禁じます。すべての内容は日本の著作権法並びに国際条約により保護されています。

家族の支えがなく、疾病・障害を抱える低所得高齢者のための

# 居住セーフティネットの必要性

## 従来の福祉供給

**病院**→平均在院日数規定、療養病床の縮小、医療区分の導入などにより社会的退院

**保護施設・宿泊所**→要介護高齢者のケア体制困難

**特別養護老人ホーム**→重度の要介護者中心、ホテルコスト負担

**養護老人ホーム**→自立または軽度の要介護者中心

病院：都内→都外へ拡大

有料ホーム(無届含む)：都内→都外へ拡大

中軽度の介護を要する低所得高齢者の生活基盤が確保できず  
単身、低所得、要介護高齢者の住まいと、安心してケアを受けられるシステムづくりへ